

令和5年度

学校評価

山梨市立日川小学校

《 学校評価について 》

【 学校教育法 】

- ・学校は、学校評価を行うと共に、その結果に基づいて学校運営の改善を図り、教育水準の向上に努めること（第42条）
- ・保護者・地域住民等の関係者による理解の深化と連携・協力の推進に資するよう、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供する（第43条）

【 学校教育法施行規則 】

- ・自己評価を行い、その結果を公表すること（第66条）
- ・保護者その他の関係者による評価を行い、結果を公表するように努めること
(第67条)
- ・評価結果を設置者（市教育委員会）に報告すること（第68条）

【 学校評価ガイドライン（文部科学省） 】学校評価の目的

- ・学校の組織的・継続的な改善
- ・説明責任の履行と学校・家庭・地域の連携、協力
- ・教育委員会による支援、条件整備等の改善

《 本校における学校評価の実施手法 》

①自己評価

- ・評価項目 → 校長を中心に検討 → 策定
- ・教職員による評価の実施（12月）
- ・児童アンケート及び保護者アンケートの実施（12月）
- ・児童アンケート及び保護者アンケートの結果を踏まえて、自己評価書を作成

②学校関係者評価

- ・保護者、地域住民が、自己評価の結果を踏まえて評価
- ・本年度の実施→学校運営協議会7名による評価
- ・実施時期 2月19日（月）

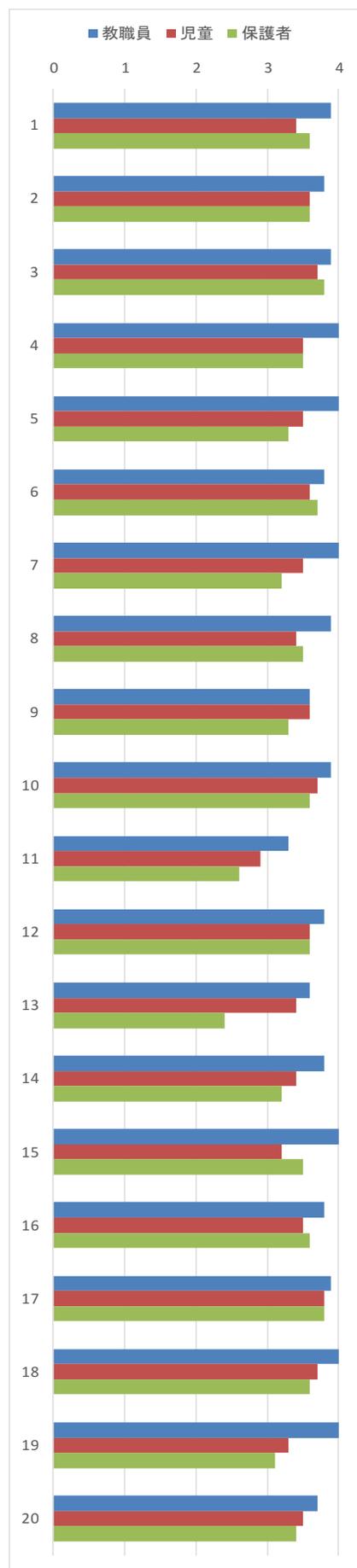
③評価結果の設置者への報告 山梨市教育委員会へ（2月下旬）

令和5年度日川小学校学校評価の結果（自己評価書）

I 教職員による自己評価と児童・保護者アンケートの平均値の比較

		教職員	児童	保護者	最大較差
1	学校経営・学校運営	3.9	3.4	3.6	0.5
2	児童理解	3.8	3.6	3.6	0.2
3	人間関係の構築	3.9	3.7	3.8	0.2
4	協調性を育む教育	4.0	3.5	3.5	0.5
5	あいさつの励行	4.0	3.5	3.3	0.7
6	清掃・環境整備	3.8	3.6	3.7	0.2
7	あきらめずにやり抜く力の育成	4.0	3.5	3.2	0.8
8	授業への取り組み・学びあい	3.9	3.4	3.5	0.5
9	わかる授業づくり	3.6	3.6	3.3	0.3
10	家庭学習の習慣化	3.9	3.7	3.6	0.3
11	自主学習の習慣化	3.3	2.9	2.6	0.7
12	個に応じた学習指導・支援	3.8	3.6	3.6	0.2
13	読書習慣	3.6	3.4	2.4	1.2
14	運動習慣	3.8	3.4	3.2	0.6
15	相談・支援体制	4.0	3.2	3.5	0.8
16	情報発信	3.8	3.5	3.6	0.3
17	魅力ある学校行事	3.9	3.8	3.8	0.1
18	安心・安全な環境づくり	4.0	3.7	3.6	0.4
19	災害時への対応・指導	4.0	3.3	3.1	0.9
20	ICTの活用	3.7	3.5	3.4	0.3

平均値 3.8 3.5 3.4



- *学校教育目標である「心身ともに健康でたくましく、自他を思いやり、自ら学び、考え行動する児童の育成」の達成に向け、全校体制で取り組んできました。これからも子ども達を中心にすえ、学校・家庭・地域の三者で同じ方向を向いて支援していけるようご理解とご協力をお願いいたします。
- *「あいさつの励行」について、年度当初から継続して取り組みを行ってきました。児童会役員を中心に6年生が先頭に立って、気持ちのよいあいさつが広がるように全校児童に働きかけを行いました。今年度から、全校集会等で誰かが前に立って話をする時には、話し手も聞き手もお互いに「お願いします」「ありがとうございました」のあいさつをするようにしました。全員で気持ちを一つにする感覚や聞く姿勢の向上にもつながりました。一方で、恥ずかしさから声が小さくなってしまいう児童もいるので、引き続き励ましながら取り組みを継続していきます。
- *「あきらめずにやり抜く力の育成」について、どんな人間にも得意不得意があることを伝えながら、苦手なことにも頑張れるよう励ましてきました。良さを認める声掛けや支援を継続することで、子どもは自分に自信が持てるようになり、苦手なことにも挑戦しようという気持ちを持つことができます。集団の一員としての所属感を得られるような励まし合える学年集団・学校集団を形成し、その中で他者と比較するのではなく「あなたはあなたでいい」と個を認める支援を継続し、集団としても個人としても成長できるよう取り組みを継続していきます。
- *「自主学習の習慣化」について、三者（教職員・児童・保護者）とも最も低い評価値となっています。与えられた宿題以外に、自分で考えて学習が進められるようになるには越えなければならない壁（生活習慣・メディアコントロール・学習意欲等）がいくつも存在します。自主学習を習慣化するためには、児童自身が学習することの意味を見つけ、学ぶことが楽しいと思えることが大切です。知識が増える喜びや問題が解けた喜び、周囲の大人からの認める声かけなど、プラスの強化が続くことで自発的な学習へと移行していきます。いきなり量と質を求めて頑張るのではなく、まずは少しずつ。子どもが自ら学ぼうという意識が持てるように、ご家庭と連携を図りながら取り組みを進めてまいります。
- *「読書習慣」について、全項目の中で最大較差が一番大きい結果となりました。全学年に毎週図書室使用の時間を割り当て、朝読書の時間も活用しながら読書活動に取り組んできました。1,2年生では外部講師の方に読み聞かせをしていただき、本の楽しさを伝える時間を作っています。休み時間も図書室を利用する児童が多く、今年度は、2学期末の時点で1人当たり73冊の貸出となっていますが、冊数にとらわれず、年齢に応じた内容の本に移行していくように児童の興味関心の幅を広げる働きかけをしていきます。また、学級文庫を設置し、いつでも身近なところに本がある環境を作り、引き続きよりよい読書習慣の形成を図っていきます。
- *日常の観察や生活アンケートなどから生徒指導上の諸問題を早期発見できるよう全校体制で努めてきました。しかし、「相談・支援体制」に関して、児童と教職員の認識に隔たりが見られました。ちょっとしたことであっても児童が相談しやすい雰囲気がつくれるように意識していくとともに、担任だけでなく全職員で全校児童に関わる体制を継続していきます。いじめに対する対応については、生徒指導主任を中心に組織的に且つ迅速に対応することを再確認しました。「いかなる理由でも

いじめはいけない」という毅然とした対応を心がけていきますので、お子様のご家庭での様子から心配されるような状況が見られた場合は、遠慮なく学校へ相談してください。

*学校では、安全計画や防災計画、危機管理マニュアルの見直しを毎年行っています。また、多様な時刻、場所、態様による避難訓練や不審者侵入時に対応する訓練を実施したり、日常の安全点検を行ったりし、その改善の措置を取ることで安全な学校環境づくりに努めてまいりました。今後も引き続き、安全で快適な学校づくりを心がけていきます。しかし、災害はいつどこで起こるかわかりません。登下校中や休日に起こった時にも対応できるようにご家庭の協力を得ながら、「自分の命は自分で守る」意識を高めていきたいと思えます。また、施設や設備面の安全を保障するだけでなく、児童の心の安定を保つことにも心を配らねばなりません。今年度もスクールカウンセラーを配置し、子どもたちや保護者、教職員の心理面の支援が継続して行うことができる教育相談の体制を整えてまいりました。今後も、児童が相談しやすい雰囲気や体制を全教職員で共通理解し、子どもたちの気持ちに寄り添った生徒指導や教育相談を学校体制で行っていききたいと思えます。

◎まとめ

アンケート結果や自己評価から見えてきた本校の教育活動や学校運営上の課題点については、真摯に受け止め、その改善に向けた措置をとっていきます。「社会に開かれた学校」や「信頼される学校」であるためには、学校と家庭、地域の皆さまとの連携は極めて重要です。学校評価も連携を深める一つの方策として捉えていただき、今後も本校の教育へのご協力をお願いします。

II 教職員による自己評価の集計 (12月実施)

4 そう思う 3 だいたい思う 2 あまり思わない 1 全く思わない

項目	番号	質 問 項 目 (2 0 問)
----	----	-------------------

() 内数字は、評価平均

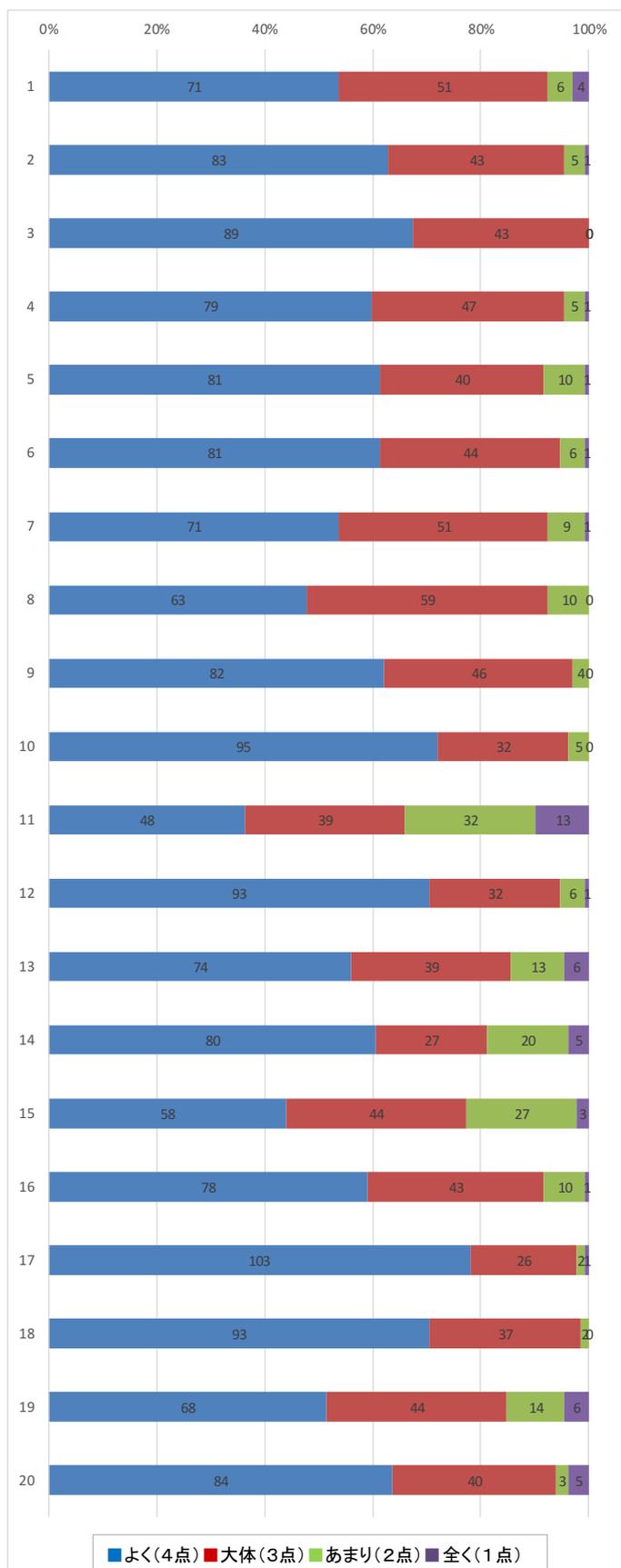
		平均値
1	楽しい学校や学級づくりに努めている。	3.9
2	児童とのふれあいや理解に努めている。	3.8
3	行事や色々な活動を企画するにあたって、子ども同士、子どもと教師の人間関係を深めることにも留意している。	3.9
4	思いやりの心を持ち、友達と協力して生活できるように指導している。	4.0
5	自ら進んであいさつするとともに、児童に指導している。	4.0
6	自ら進んで清掃を行うとともに、清掃指導をしている。	3.8
7	困難に挑戦し、最後までやり抜けるよう励ましたり支援したりしている。	4.0
8	授業において、児童が自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりするよう指導している。	3.9
9	教材研究をして指導法を工夫し、児童にわかりやすい授業をしている。	3.6
10	宿題を設定し、家庭学習のやり方を指導したりしている。	3.9
11	児童は、自学(塾・習い事を除く)に積極的に取り組んでいる。	3.3
12	児童が分かるまで、個に応じた学習指導を行っている。	3.8
13	児童が進んで読書に親しむよう工夫している。	3.6
14	児童が運動に親しみ楽しみながら、健康な体を育めるよう指導している。	3.8
15	児童の問題行動に対し、家庭と連絡を取りながら、解決に向けてともに取り組んでいる。	4.0
16	おたより(学年・学級・保健・図書・給食など)で、学校や児童の様子を伝えている。	3.8
17	学校行事(運動会など)は、児童にとって魅力のあるものとなっている。	3.9
18	児童の安全のために、適切な指導や措置を行っている。	4.0
19	通学路の危険箇所や災害時の避難場所および避難の仕方を指導している。	4.0
20	ICTを活用し、指導方法の工夫、改善を行っている。	3.7

Ⅲ 児童アンケート 集計結果【R5.12月実施】

対象:全校児童136名 回答率:97%

	平均値
1 学校は楽しいですか。	3.4
2 先生は、あなたの話を聞いてくれますか。	3.6
3 行事やふれあい活動で、友達や先生となかよくなれましたか。	3.7
4 友だち誰にでもやさしく接していますか。	3.5
5 進んであいさつをしていますか。	3.5
6 いっしょうけんめいそうじをしていますか。	3.6
7 苦手なことやできないことにも、あきらめなくて努力していますか。	3.5
8 授業中、自分の考えを説明したり友だちの考えを聞いたりしていますか。	3.4
9 学校の授業の内容がわかりますか。	3.6
10 宿題は忘れずに取り組んでいますか。	3.7
11 自学(塾・習い事を除く)に積極的に取り組んでいますか。	2.9
12 先生は、分かるまで熱心に教えてくれますか。	3.6
13 読書は好きですか。	3.4
14 休み時間など、外で元気に遊んでいますか。	3.4
15 困ったことがあるとき、担任の先生に相談していますか。	3.2
16 学校のおたよりを、忘れずに家の人にわたしていますか。	3.5
17 学校行事(運動会・日川小祭りなど)は、楽しいですか。	3.8
18 登下校中や家に帰って遊びに行くとき、交通ルールを守っていますか。	3.7
19 登下校中に地震が起きたとき、どうすればいいか知っていますか。	3.3
20 ICTを使った授業は好きですか。	3.5

全体平均値 3.5



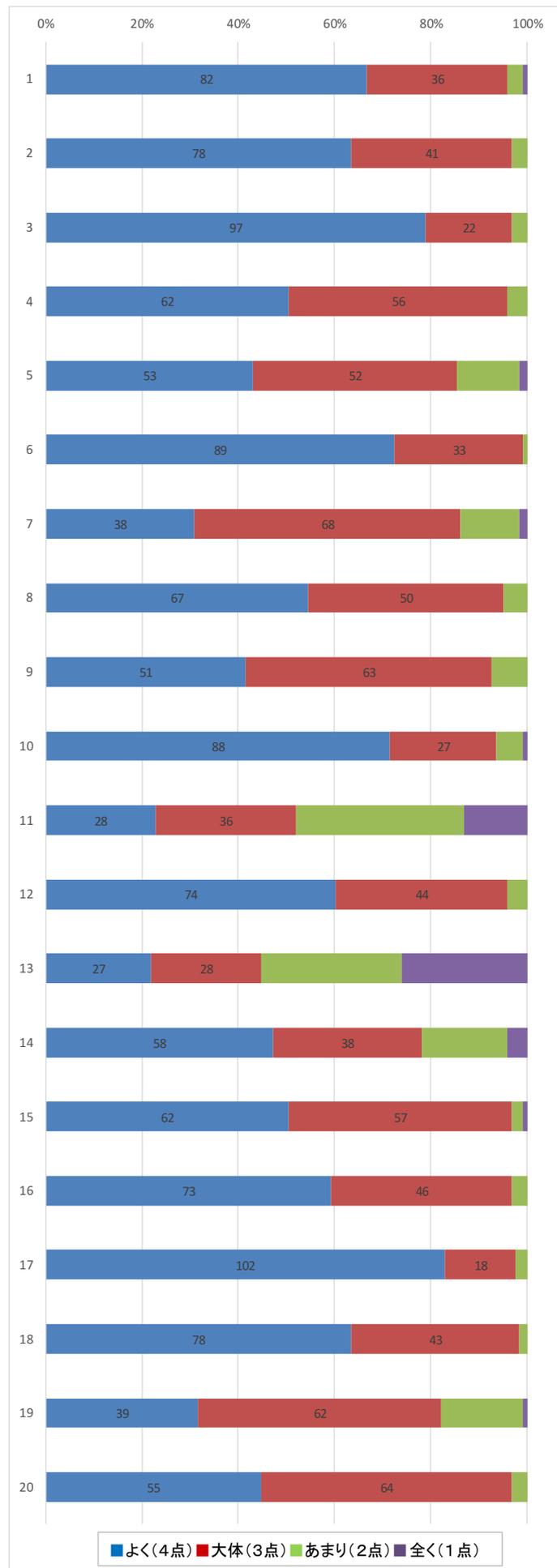
* グラフ内の数値は、人数を表しています。

IV 保護者アンケート 集計結果【R5.12月実施】

対象:全保護者(兄弟姉妹を含めて)136名 回答率90%

	平均値
1 お子さんにとって、学校は楽しいところだと思いますか。	3.6
2 先生は、お子さんのことをよく理解していると思いますか。	3.6
3 行事や色々な活動は、子ども同士や子どもと先生の信頼関係を深めるために、役立っていると思いますか。	3.8
4 日川小の児童には、思いやりや責任感など、豊かな心が育っていると思いますか。	3.5
5 日川小の児童は、よくあいさつをしますか。	3.3
6 日川小では、教室や廊下・トイレなどがきれいに掃除されていると思いますか。	3.7
7 お子さんは、苦手なことやできないことにも、あきらめないで努力していると思いますか。	3.2
8 お子さんは、学校では一生懸命学習に取り組んでいると思いますか。	3.5
9 お子さんは、授業の内容を理解していると思いますか。	3.3
10 お子さんは忘れずに宿題に取り組んでいますか。	3.6
11 お子さんは、自学(塾・習い事を除く)に積極的に取り組んでいますか。	2.6
12 先生は、分かるまで熱心に教えてくれていると思いますか。	3.6
13 お子さんは、家で読書をしていますか。	2.4
14 お子さんは、家では外で元気に遊んでいますか。	3.2
15 子ども達の問題(いじめ・不登校・子ども間のトラブル・学力など)について、担任や学校は、対応していると思いますか。	3.5
16 おたより(学年・保健・図書・給食など)は、学校の様子を伝えていると思いますか。	3.6
17 学校行事(運動会・日川小祭りなど)は、子ども達にとって魅力のあるものになっていると思いますか。	3.8
18 学校は、児童の安全のために適切な指導や措置を行っていると思いますか。	3.6
19 お子さんに通学路の危険箇所や災害時の避難場所及び避難の仕方を教えていますか。	3.1
20 学校はICT機器を積極的に活用した授業を行っていると思いますか。	3.4

全体平均値 3.4



* グラフ内の数値は、人数を表しています。